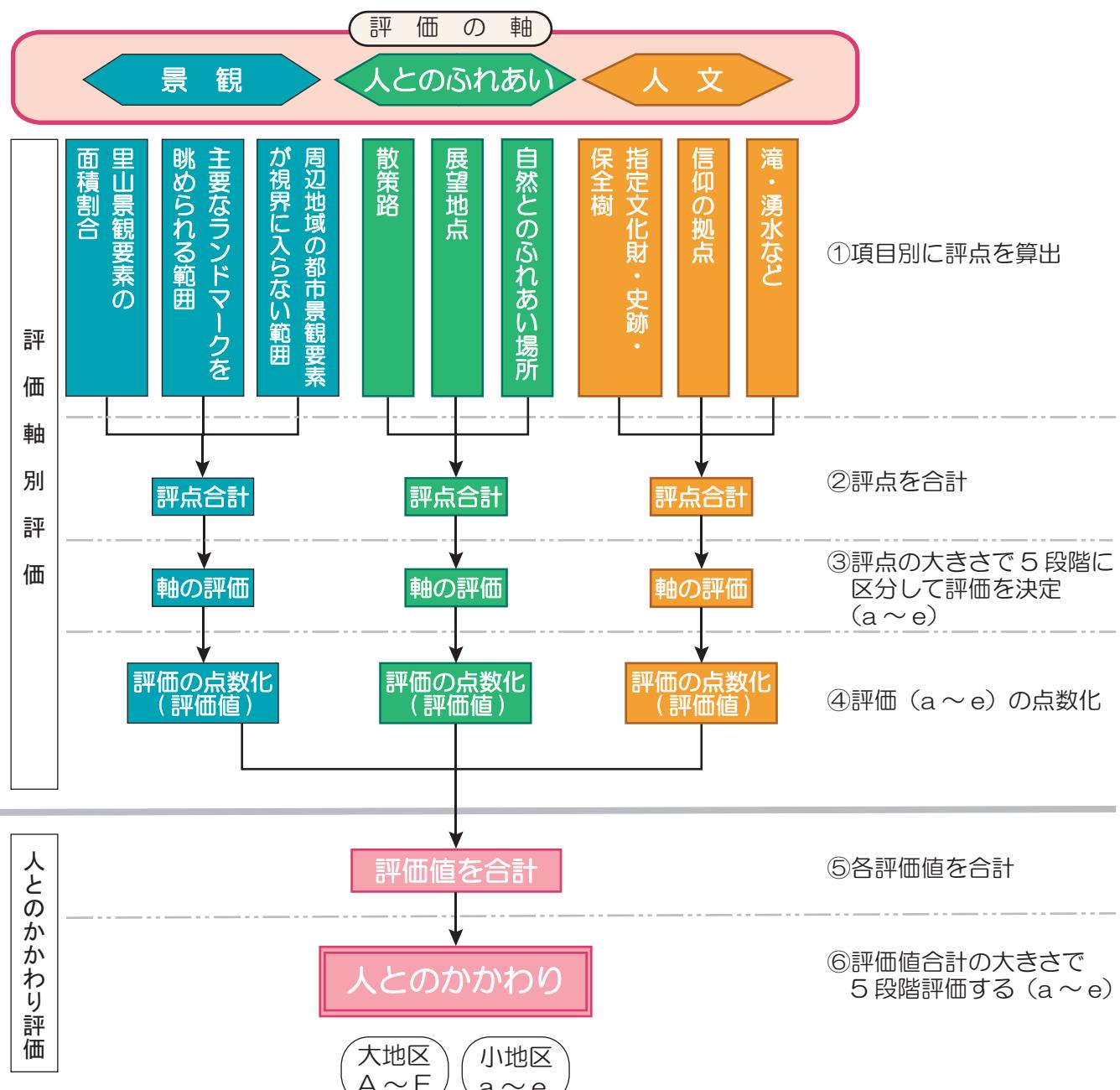


7. 人とのかかわりの評価

7.1 評価の流れ

人とのかかわりの評価は、平成16年度の自然評価の算出方法と同じ手法を用いました。評価の軸として、「景観」「人とのふれあい」「人文」をそれぞれ5段階に評価して各地区を点数化し、さらに3つの軸の評価をまとめて地区ごとの「人とのかかわり評価」としました。全体の評価手順は、下記フローチャートのとおりです。



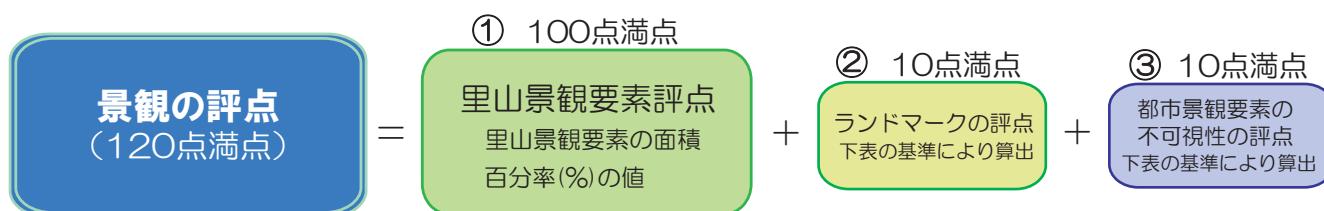
■人とのかかわり評価のフローチャート

評価の結果は、57～68
ページをご覧ください。

7.1.1 景観

景観の評価は、①里山景観要素の評点（里山景観要素の地区における面積百分率の値を評点としたもの）と、②ランドマークの評点（ランドマークを眺められる範囲が市域に対する面積百分率を10点満点に換算したもの）と、③都市景観要素の不可視性の評点（都市景観要素が視界に入らない範囲の面積百分率を10点満点に換算したもの）を合計して、評点合計値の大きさで5段階に評価しました。

土地利用がどれだけ本来の里山に近いのかということを評価の重点におき、さらに地区外に対して持つランドマークとしての価値、地域外の都市的景観が視野に入らない程度を上乗せすることで、地区の景観を多角的に評価しました。



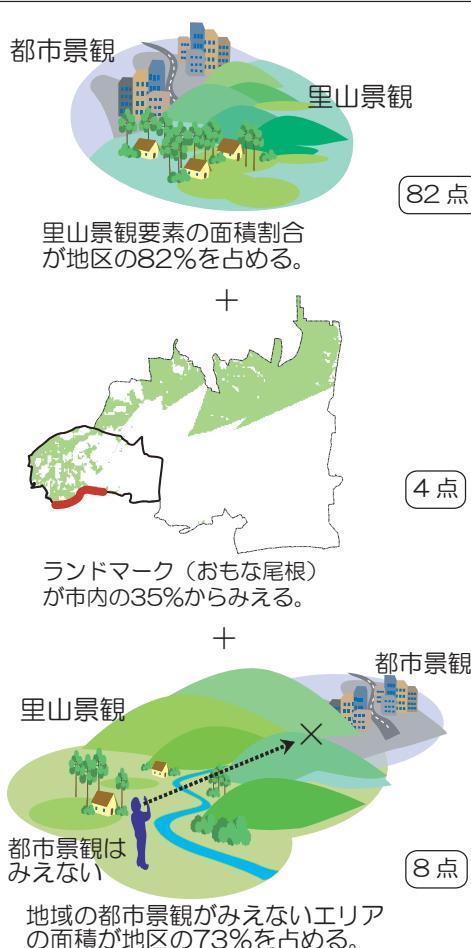
◇評点換算基準（上記②③）

評点	主要なランドマークが眺められる範囲の割合 都市景観要素が視界に入らない範囲の割合
10	90%以上
9	80%以上～90%未満
8	70%以上～80%未満
7	60%以上～70%未満
6	50%以上～60%未満
5	40%以上～50%未満
4	30%以上～40%未満
3	20%以上～30%未満
2	10%以上～20%未満
1	10%未満

【景観の評点算出例と評価の考え方】

ーある地区的場合ー

里山景観要素の占める割合が82%、市内からの主要眺望対象の可視領域が35%であり、都市景観要素の不可視領域が73%である場合。



里山的景観要素	82点
ランドマークの可視性	4点
都市的景観要素の不可視性	8点
合 計	94点

計 94 点

この地区は、小地区であるとします。
この地区的評点は、94点でした。
実際の景観評価の最高点は109.9点で、この評点の
80%（87.9点）以上は「a」評価となります。
この地区的94点は、最高点の85.5%で、80%を超
えるため、この地区的評価は「a」評価となります。

◇景観評価

評価	評価合計値の内容 (最高点に対する評点の割合)
a	80%以上
b	60%以上～80%未満
c	40%以上～60%未満
d	20%以上～40%未満
e	20%未満

7.1.2 人のふれあい

人のふれあいの要素となる、散策路のルート数・展望地点数・自然とのふれあい場所数を合計して評点を算出し、5段階で評価しました。

人の ふれあい 評点	=	地区内を通過 する散策路の ルート数	+	展望地点数	+	自然との ふれあい場所 箇所数
評点						人のふれあい項目
1	散策路	湘南ひらつかやすらぎ回廊				
1		関東ふれあいの道				
1	展望地点	平塚八景				
	自然との ふれあい 場所	自然体験フィールド				
1		自然観察場所				
		自然とのふれあい施設				

【人のふれあい評点算出例と評価の考え方】

ーある地区の場合ー

ある地区に、散策路が1本、展望地点が1箇所、自然とのふれあい場所が2箇所あった。



散策路	1点
展望地点	1点
自然とのふれあい場所	2点
合 計	4点

ここは小地区であるとします。
この地区的評点は、4点でした。

実際の人のふれあい評価の最高点は6点で、この評点の80%（4.8点）以上は「a」評価、3.6点以上～4.8点未満は、「b」評価となります。

よって、この地区は「b」評価となります。

△人のふれあい評価

評価	評価合計値の内容 (最高点に対する評点の割合)
a	80%以上
b	60%以上～80%未満
c	40%以上～60%未満
d	20%以上～40%未満
e	20%未満

7.1.3 人文

人文の評価は、住民の生活や信仰に結びつきが深いもの、信仰の拠点となる社寺、滝、湧水などの存在地点数を合計して評点を算出し、5段階で評価しました。

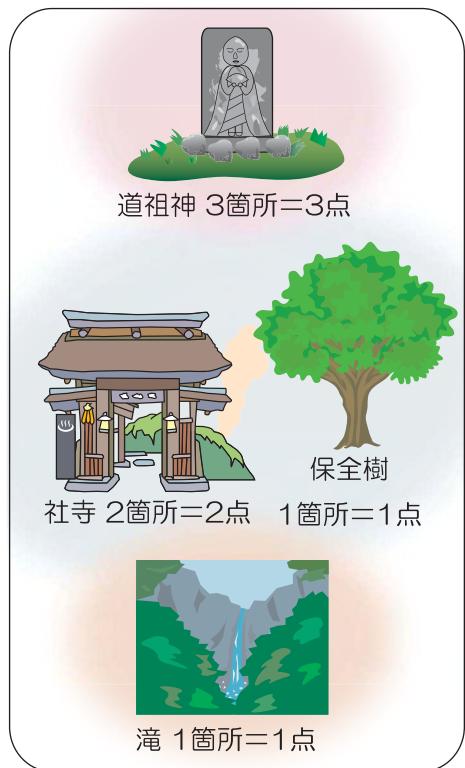
$$\text{人文評点} = \text{評点1点} \times \text{人文項目の存在地点数}$$

評点	人文項目
1	道祖神
1	水神
1	史跡
1	保全樹
1	指定文化財
1	社寺
1	湧水
1	滝

【人文評点算出例と評価の考え方】

ーある地区の場合ー

ある地区に、道祖神3箇所、神社2箇所、保全樹が1本、滝が1箇所あった。



道祖神	3点
保全樹	1点
社寺	2点
滝	1点
合 計	7点

計 7点

この地区は、小地区であるとします。
この地区の評点は、7点でした。
実際の人文評価の最高点は11点で、この評点の80%（8.8点）以上は「a」、6.6点以上～8.8点未満は「b」評価となります。
よってこの地区は「b」評価となります。

◇人文評価

評価	評価合計値の内容 (最高点に対する評点の割合)
a	80%以上
b	60%以上～80%未満
c	40%以上～60%未満
d	20%以上～40%未満
e	20%未満

7.1.4 人とのかかわり

平成17年度調査のまとめとして、人とのかかわり評価を5段階で評価しました。大地区の評価はA～E、小地区の評価はa～eで示しました。

人とのかかわり評価 :

評価値の合計値（景観評価値＋人とのふれあい評価値＋人文評価値）の大きさで5段階評価

人とのかかわり評価の算出例

ーある地区の場合ー

景観の評価が「a」、人とのふれあいの評価が「a」、人文の評価が「c」であった。

